

ハワイ州庁舎前で

ハワイは日本と同じ四方が太平洋の海に囲まれた島国。海に面する距離は全長 2500km を超える長大な列島郡である。島の数は小島、環礁、岩礁など、海面から顔を出しているものまで入ると 130 島にもなる。そのうち人間が定住しているのは 7 島。後は海鳥、アザラシ、ウミガメ等の生き物の生息地になっている。

これまで広大な北太平洋に浮かぶハワイ諸島は全くの孤島で、近年までは地球上でもっとも隔絶した場所の一つであった。しかし船舶の大型化と高速化によって交流は頻繁に可能となり、更には戦後の航空旅客機の発展により、南国のパラダイス常夏の島ハワイは、世界中から一躍脚光を浴びることになる。



今では観光だけでなく貿易の拡大、アメリカ合衆国としての軍事上の重要拠点として、無くてはならない存在になっている。1959 (昭和 34) 年にはアメリカ合衆国 50 番目の州に。人口 128 万人。州都はオアフ島にあるホノルル市。民族構成は白人 24.3%、アジア系 41.6%、2 民族以上の混血 21.4%。州旗には左上にユニオンジャック (英国旗と同じ) に赤青白の横縞 (8 島を表す) がデザインされている。

ハワイ滞在中あちこちで美しい虹を見ることができた。海から山にかけての大きなものから、縦縞の局地的なものまで。日常は虹など目にする事のない私の生活に、それは何か幸運を感じさせるひと時であった。そういえばハワイの車のナンバープレートには、常夏の楽園らしく虹がイメージされていた。輝けるハワイ州の未来へ虹の懸け橋が続くように。 撮影 2010 年冬

